

RYOBI®

エアインパクトドライバ

AID-9

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

・安全上のご注意	1～4
・各部の名称	5
・仕様	5
・付属品、用途	5
・使用方法	6～7
・保守と点検	8
・サービスネットワーク	8

■エア工具を安全にご使用いただくために

このたびは、リョービエア工具をお買上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの安全に関する注意事項、及び取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本体の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「 警告」、「 注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **警告**：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意**：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「 警告」、「 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

●安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないで下さい。
3. 動力源は乾燥したきれいな圧縮空気のみを使用してください。
 - 圧縮酸素、水素など圧縮空気以外の高圧ガスを使用しますと、爆発の恐れがあります。

警告

4. 指定の圧力範囲でご使用ください。
 - 銘板、取扱説明書に指定された範囲の圧力より高い圧力を接続すると、本体の破壊によりけがをすることがあります。
5. いかなる場合にも、刃先や先端部を人体には向けないでください。
 - けがの原因になります。
6. 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、工具やエアホースに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
7. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
8. 作業に合った工具を使用してください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
9. きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
10. 保護めがねを使用してください。
 - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、周囲の状況に合わせ、ヘルメット、耳栓、防塵マスクなどの保護具を使用して下さい。
11. エアホースを乱暴に扱わないでください。
 - エアホースを持って工具を運んだり、エアホースを熱、油、角のついた所に近づけないでください。
12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 工具は、注意深く手入れをしてください。
 - 安全に能率よく作業をしていただくために、注油や付属品の交換を、取扱説明書に従い行ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
14. 次の場合は、エアホースまたはエアカブラを必ず外してください。
 - 使用しない、または修理する場合。
 - 先端工具を交換する場合。
 - 名部の調整をする場合、その危険が予想される場合。
15. エアホースをつなぐ前に、調整や先端工具の取付けに用いた工具類が取外してあることを確認してください。
 - 工具類が飛び、けがの原因になります。
16. エアホースの接続は確実に行ってください。

警告

17. 不意な始動は避けてください。
 - エアホースを動力源につないだ状態で、トリガに指をかけて運ばないでください。エアホースを動力源につなぐ前に、安全装置が正常に作動することを確認してください。
18. 安全装置が正常に作動しない場合は、直ちに使用を中止して、お買上げ販売店又はリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - 安全装置が作動不良の状態で使用しますと、けがの原因になります。
19. 使用前に各ネジ類がゆるんでいないか、必ず確認してください。
 - 締付けが不完全な状態で使用しますと、機械が破損してけがの原因になります。
20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - 工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。
21. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - 本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
23. 工具の修理は、専門店で依頼してください。
 - 修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
24. 誤って落としたり、ぶつけた時は、工具や先端工具に破損や変形など異常がないことを確認、点検してください。
 - 破損や変形など異常があると、事故やけがの原因になります。

注意

1. エア工具や先端工具を改造しないでください。
 - 事故やけがの原因になります。
2. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
また、エアホースを引っかけたりしないでください。
材料やエア工具などを落したときなど、事故の原因になります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

●エアインパクトドライバご使用に際して

先にエア工具としての共通の注意事項を述べましたが、エアインパクトドライバをご使用の際には、さらにつきに述べる注意事項を守ってください。

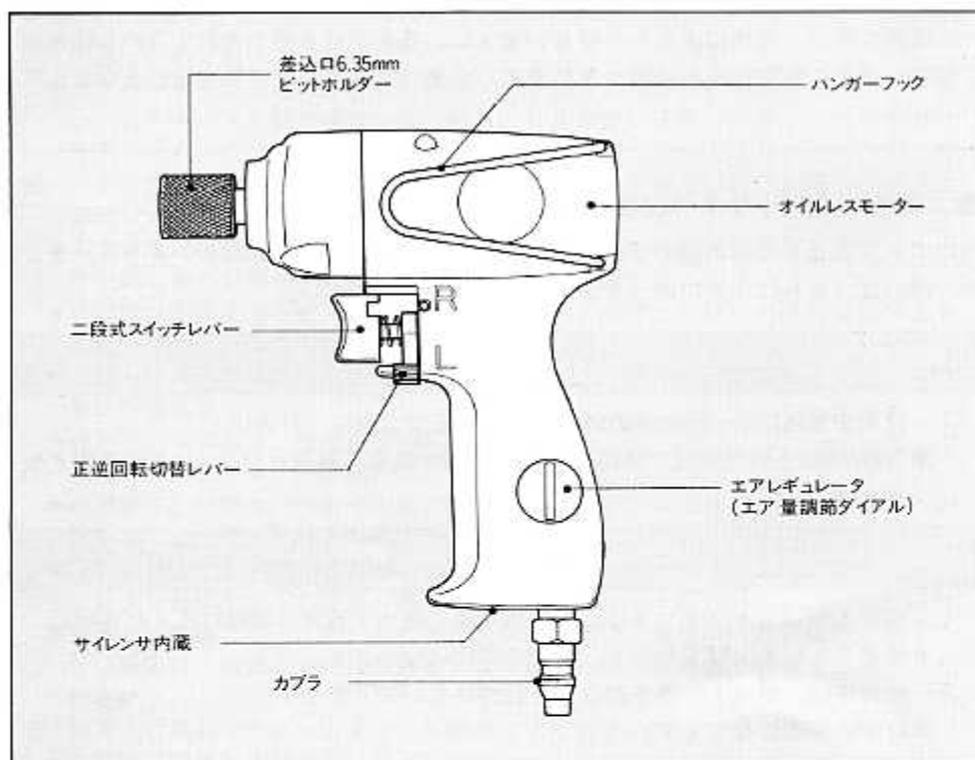
警 告

1. 使用空気圧は5～7kgf/cm²の間の一定空気圧でご使用ください。
 - 7kgf/cm²以上の空気圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因となります。

注 意

1. ビットやビットソケットは、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - 確実にないと、はずれたり、けがの原因になります。
2. 使用中は、ビットに手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
3. ビットやソケットは、ホルダーのサイズに適合するものを使用してください。
 - 異なったサイズのは、事故やけがの原因になります。

■各部の名称



■特長

- ダブルハンマインパクト機構により、安定した締付トルクが得られ耐久性も抜群です。
- ビットホルダーに2個のスチールボールを使用していますから、ビットの偏心がありません。又、ビットの交換がワンタッチで行えます。
- 仮締に便利な二段式スイッチレバーアクション。
- エアレギュレータにより、作業に合わせたトルク設定ができます。
- メンテナンスの手間が省けるオイルレスモーター使用。
- 消音機構内蔵で騒音を低減します。
- 携帯に便利なベルトフック付。

■通常付属品

- 30mm ⊕ ビット(No2)…1本
- 50mm ⊕ ビット(No2)…1本
- 110mm ⊕ 着磁両口ビット(No2)…1本
- 150mm ⊕ 着磁両口ビット(No2)…1本
- ビットソケット(着磁)……………1本
- カブラ(本体取付済)
- 樹脂ケース

■仕様

能力	ネジ径10mm
ビット差込口	6.35mm
最大締付トルク	13kgf・m
全長	155mm
重量	1.0kg
空気消費量	0.09m ³ /min
エア取入口	1/4" NPT

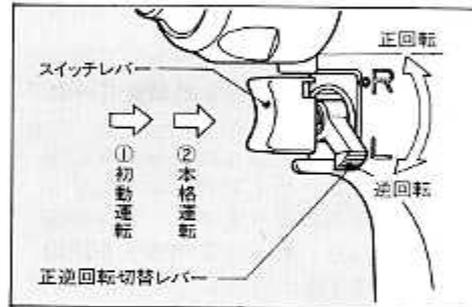
■使用方法

警告

- エアホースをつなぐ前に、調節用の六角棒スパナ等の工具類を取り外してあることを確認してください。
- エアホースの接続は確実に行ってください。
- 使用空気圧は5-7kgf/cm²にセットしてください。7kgf/cm²を越える空気圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- スイッチを入れる前に近くに人がいないことを確認し、本体をしっかり持ってください。また、可動部には手や顔等を近づけないでください。けが、事故の原因になります。

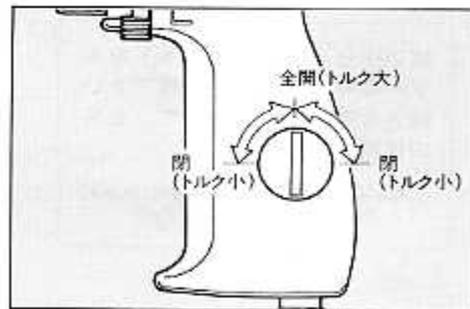
1. 正逆回転切替レバーとスイッチレバーの操作

- 正逆回転切替レバーの操作は上に(Rマーク)持ち上げると正回転で締め付け作業となります。下に(Lマーク)下げると逆回転で取り外し(ゆるめ)作業となります。
- スイッチレバーは二段階操作式で、第一段階までスイッチレバーを引くと低速運転となります。更にもう一段階引くと高速運転となり、スイッチレバーの引き具合により速度調節ができます。



2. 作業前に、締め付けトルクの調節を行なって下さい。

- エアーレギュレータの調節ダイヤルは、硬貨または⊖ドライバーを調節ダイヤルの溝に合わせて回転し調節します。溝はタテ位置で全開、ヨコ位置で閉となります。任意にトルク調節を行ってください。
- 締め付けは、ゆるい目を設定し、順次適正な締め付けとなるようにしてください。
- 分解作業などでフルパワーを必要とするときは、調節ダイヤルを全開位置にセットしてください。



注意

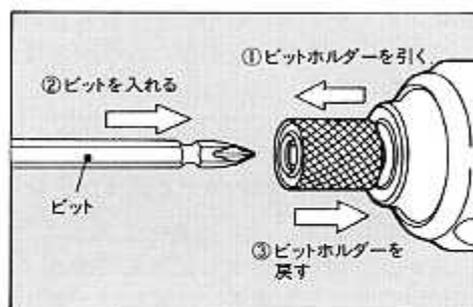
締め過ぎは、ネジ類の破損を招きます。適切なトルクでお使いください。

3. ビットの取り付け方法

警告

- ビットの取付け、取外しの際は、カブラからエアホースを外して行ってください。不意な始動によるけがの原因になります。
- 異なったサイズ、形状のビットやビットソケットは、使用しないでください。はずれて飛んだりし、けがの原因となります。

- ビットの取付けはビットホルダーを本体と反対側に持ち上げるように引っ張り、ビットの六角部をビットホルダーに差し込んでください。そのままビットホルダーを離せば、ビットはロックされます。ビットを軽く引っ張っても抜けを確認してください。
- 取外しはビットホルダーを引っ張った状態で、ビットを引き抜いてください。
- ネジのサイズに合ったビットをご使用ください。サイズの異なるビットをご使用になりますと、ネジの頭をなめたり、ビットを損傷する原因となります。



注意

短い⊕ビットは、ソケットホルダーに差し込んでご使用下さい。強力な着磁ビットとして、ビスの保持をします。

(本体チャックに短いビットを直接差し込みますと、取れなくなる場合があります。)

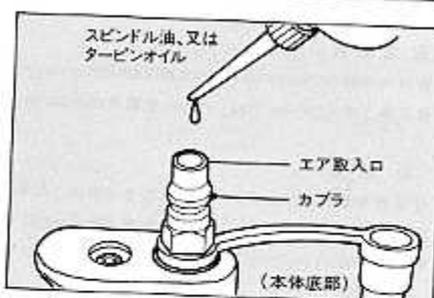
■保守と点検

警告

- 保守、点検、部品交換等のお手入れの前にカブラからエアホースを必ず外してください。けがの原因になります。

●各部取付ネジの点検

- ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。



●使用後の手入れ

- 使用後は、エアホースをはずし、エア取入口からスピンドル油または、タービンオイルを1-2滴、注油してください。そして、エアホースを接続して、軽く低速で回転させ、可動部分に油をなじませてください。その後、エアホースを外し、付属の樹脂ケースに収納してから、保管してください。
- 油污れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布で本体を拭いてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●作業後の保管

- 保管は落下の恐れがなく、湿気の少ない、直射日光などのあたらない冷暗所としてください。自動車内は高温となる恐れがありますのでさけてください。

●コンプレッサについて

- コンプレッサは、次回使用の際に本体内に水分が混入しないよう、タンクにエア圧がある状態でドレーンを開き、水分を除いておいてください。コンプレッサ保護のためにも、おすすめします。

●修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし、正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店または、リョービ販売営業所にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の際、その他取扱上ご不明の
点があった場合には、ご連絡なくお買上げの販
売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせ
ください。

*改良のため、お断りなく製品仕様が変わることがあります。

RYOBI

株式会社

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社
